

SHIRAKOBATO

しらこぼと



2000. 3

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 191

日本野鳥の会 埼玉県支部

岩槻公園・岩槻文化公園周辺での探鳥

中村榮男（岩槻市）

岩槻で探鳥を始めたわけ

「探鳥をやるなら自分のフィールドを持つことだよ。岩槻公園はどう？」と、ある親睦会で支部長に勧められたのがきっかけである。しかしその時は意欲もわかなかつたのだが、役員になったことを機会に、岩槻公園と岩槻文化公園の二つの公園を中心に、自分のフィールド探しを開始した。

その結果、探鳥会もできそうだとわかり、99年12月12日までに4回実施した。

岩槻公園・岩槻文化公園周辺の野鳥

97年1月以来、私がこのフィールドで観察できたのは90種、今後もまだまだ増えそうである。この内、ビンズイ、ヒガラ、アオバズクは岩槻公園で、チュウサギ、アマサギ、ヨシゴイは川辺のコロニーで、また半野生化したカナダガンは元荒川で観察したものである。

サギのコロニー

まず、気の早いゴイサギが、3月の末に巣づくりを開始、4月末には子育て開始、6月には2回目の繁殖をするようだ。99年には100近い巣を確認できた。

また、4月中旬にはコサギやダイサギも仲間入り、巣はやや下の方に作るようで詳しくは分からない。5月末になるとチュウサギやアマサギも仲間入り。営巣するのかがねぐらだけなのかは不明。7月にはヨシゴイも見られ

た。9月中旬、下流の堰の水を抜くと同時にサギ類はいなくなる。

しかし、昨年は例年と違い、9月下旬頃よりダイサギ、コサギのねぐらになり、100羽近いサギが夜明けとともにいくつかの群れでそれぞれ自分たちの餌場にでかけ、夕方暗くなってから帰ってきていた。

探鳥会を実施してみて

探鳥会には平均参加者54名、出現鳥35種。昨年の12月の参加者は72名、強風のためか出現鳥は31種とやや少なく残念だった。

探鳥会では沢山の野鳥を見てもらおうと前日から天気が大変気になる。でも、毎回多数の参加者がありそれだけで感激である。また、このような公園でも立派に探鳥会が開けることもうれしい。さらに、この特集を読んで、「これなら自分の近くにもよいフィールドが在りそうだ、探してみよう」という気持ちを持った方が一人でも増えれば満足である。

最後に

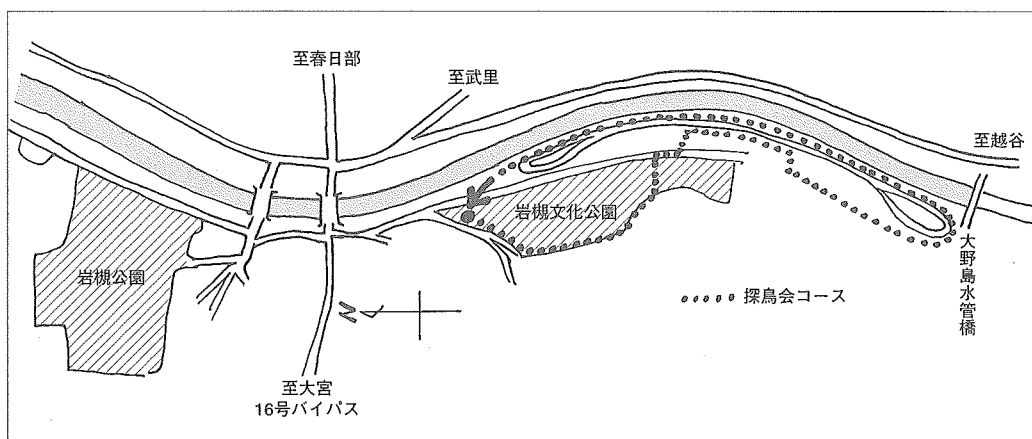
人出の多い公園でも、けっこう鳥も多く、年間を通していろいろな自然を味わうことができる。遠くへ出かけなくても近くにとても良い自然があるのだ、という事を理解していただき、ぜひ、自分のフィールドを持つことをお勧めしたい。また、このような自然を何時までも大切にしたいものである。

私は、外出や雨天の日以外、双眼鏡を片手に毎朝約1時間のウォーキングをやっている。渡りの時期はいつ新顔に会えるかが毎日の楽しみである。

（編集部では、今回の特集のようなあなたのフィールド紹介を大歓迎しています。また、このように印刷されたものを市役所の環境保全課、公民館、その近くの小中学校、そして今回の場合はその公園の受付などに送るのも、効果的な環境保護活動の一環になります。）



コゲラ（海老原美夫）



探鳥記録 (1997年1月~1999年12月)

No	種名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	カイツブリ	△	△	○	○	△	○	△	○	○	△	△	△
2	カワウ	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○
3	ヨシゴイ							△					
4	ゴイサギ	△		△	○	○	○	○	○	○	○	△	△
5	アマサギ						○	○	○	○	○		
6	ダイサギ	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	チュウサギ					○	○	○	○				
8	コサギ	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	アオサギ	△	△	○	△	△	△	△	△	△	○	○	
10	カナダガン					△							
11	マガモ	△	△	△						△	△	△	
12	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	コガモ	○	○	○	○						○	○	○
14	トモエガモ												△
15	オカヨシガモ	△	△	△							△	△	
16	ヒドリガモ	○	○	○	△						○	○	○
17	オナガガモ	○	○	○	△					△	○	○	
18	ハシビロガモ	○	○	○	○							○	○
19	ホシハジロ												△
20	トビ								△				
21	オオタカ	△		△									△
22	ツミ				△			△	△				
23	ハイタカ												△
24	サシバ												△
25	ハヤブサ	△							△				△
26	チョウゲンボウ												△
27	コジュケイ	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○
28	キジ								△	△			
29	バン					△							
30	コチドリ										△		
31	イカルチドリ	△	△	△	△							△	△
32	ハマシギ	△										△	
33	イソシギ	△	△	△	△					△	△	△	△
34	ユリカモメ	○	○	○	○						△	○	○
35	セグロカモメ	○	○	○	○						△	○	○
36	ウミネコ	△								△	△	△	
37	コアジサシ				△		○	△					△
38	シラコバト	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
39	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	カツコウ					△	△	△	△	△			
41	ツツドリ												△
42	ホトトギス							△		△			
43	アオバズク									△			
44	カワセミ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
45	アラスイ	△	△	△									△

No	種名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
46	アオゲラ	△	△										△
47	アカゲラ	△	○	△	△	△						△	△
48	コゲラ	○	○	○	△			△	△	△	△	△	○
49	ヒバリ	△											
50	ツバメ	△	△	○	△	○	○	○	○				
51	キセキレイ	△	△	△				△					△
52	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	セグロセキレイ	△	○	○	○			△		△	△	○	○
54	ビンズイ	△											
55	タヒバリ	△	△	△									△
56	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	モズ	○	○	○	△	△	△	△	△	○	○	○	○
58	ルリビタキ	△	△	△									△
59	ジョウビタキ	○	○	○	△						○	○	○
60	クロツグミ											△	
61	アカハラ	△	△	△									△
62	シロハラ	△	△	△	△								△
63	ツグミ	○	○	○	○								○
64	ウグイス	○	○	○	○	△	△	△	△				○
65	オオヨシキリ					△	○	○	○	○	△		
66	メボソムシクイ												△
67	セツカ				△	△	△		△				
68	キビタキ												△
69	オオルリ												△
70	エゾビタキ											△	○
71	コサメビタキ												△
72	ヒガラ	△											
73	ヤマガラ	△	△								△	△	△
74	シジュウカラ	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○
75	メジロ	○	○	○	△	△	△	△	△	△	○	○	○
76	ホオジロ	△	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○
77	カシラダカ	△	○	○				△					○
78	アオジ	○	○	○	○							△	○
79	カワラヒラ	○	○	○	○	△	○	△	△	△	△	○	○
80	マヒワ	△	△	△									
81	ベニマシコ	△											
82	ウソコ												△
83	シメメ	○	○	○	△								○
84	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	コムクドリ							△	△	○	△		
86	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	カケス	○	○	○	△							○	○
88	オナガ	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○
89	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎…大変よく観察できた ○…よく観察できた △…時々か、まれに観察できた

「バカッチョイ」と「ダンゴッチョイ」

浦和市 陶山和良

朝から肌寒くどんより曇り空の武蔵丘陵森林公園探鳥会。鳥あわせの頃になると白いものがばらつき始め、リュックの中から昼食のおにぎりより先に折りたたみ傘が出る始末。

お目あてのルリビタキの出現もなく心は早やバス停へ。傘を手に少し先を足早に歩いていたメンバーがふと立ち止まった分かれ道。私は追いつきざまに「帰り道は往路と違った左の道にしませんか」と声をかけ、同行することになった。

「今日は残念でした。ルリビタキが見られなくて」と言う私に、同行してくださった地元嵐山から参加の杉田さん「このあたりにはルリビタキは沢山いますよ。人の近くまで平気で来ますので地元ではバカッチョイと呼んでいますよ」。「バカッチョイ」ちょっとかわいそう。ちなみに「ダンゴッチョイ」は「背中に白い丸いダンゴをしょっているジョウビタキでしょう」正解…話をしながらも二人の目は右に左に、キョロキョロ…いました、バカッチョイがほんの5～6m先の灌木の枝に。コバルトブルーの美しい雄を間近に見るのは初めての私は、少々興奮気味。噂をすれば何とやら、見たい一念が通じたのでしょうか。寒さも雪も吹き飛んだ帰り道でした。

多分、私も…

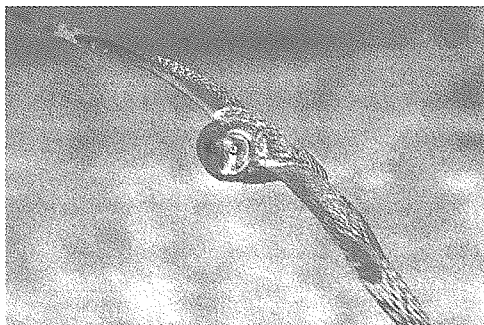
海老原美夫（浦和市）

白岡町の浅田徳次さんから、事務局にFAXが届きました。松伏町大川戸の公園予定地にコミミズクが複数越冬していると地図入りの野鳥情報で、「心優しい人が行けば、午後3時頃から飛び回るのが見えます」との注釈付きです。「心優しい」という条件であきらめて、とりあえずたまたま集まったシラコバト見つけ隊のメンバーに、（県東部の人が多いものですから）知らせておきました。

後日、HさんやTさんが、清水公園探鳥会の後に立ち寄って、「3羽見られました。2時半頃から飛び始めました」とのこと。

えっ？ 彼らが「心優しい」？ じゃ…。

1月30日の日曜日。本当に午後2時半頃から飛び始めました。少なくとも3羽。4羽数えたという人もいます。久しぶりに堪能しました。



▷▷▷はみ出し行事あんない◁◁◁

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月26日（日）

集合：午前9時30分、県立さきたま資料館前レストハウス。

交通：JR高崎線吹上駅北口より、東武バス行田車庫（佐間経由）行き8：55発に乗車、「産業道路」下車、徒歩約15分。
担当：内藤、岡安、榎本、和田、松本、立岩、石井（博）、島田

見どころ：桜の時期にはちょっと早いけど、気持ちの良い季節になりました。冬鳥、夏鳥がいれかわるときですね。萌える若草で衣替え中の古墳群を巡り、丸墓山墳頂にも登り、皆で鳥を探しましょう。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月26日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8：42発、または所沢8：36発に乗車。

担当：長谷部、高草木、藤掛、石井（幸）、中村（祐）、山本（真）、久保田、山本（義）

見どころ：3月は恒例のツバメとカタクリを見る探鳥会。また、さえずる小鳥や夏羽に変身中の鳥たちを探し、季節の変わり目を楽しもう。

シラコラム

最近、キジバトが2羽、電線伝いに大きな弧を描いて追いかけてくる、ディスプレイが目立つようになりました。シラコバトも同じような行動をしながら、繁殖に入るものと思います。

この時期がいちばん見つけやすく、注意していれば屋敷林の営巣場所もわかります。また、鴻巣駅や東岩槻駅のように、駅舎に営巣することもあります。

調査開始からこれまでに、15名の人から53件の観察情報をお送りいただきました。観察場所も36区域（2万5千分の1地形図の100等分メッシュで）に上ります。特に、養鶏場や養豚場の近辺での観察報告が多数あります。皆さんも近所で探してみてください。

見つけ隊の隊員が探鳥会にでかけ、皆様にシラコバトが居ないという報告もお願いしていますが、観察のやり方が解らないとの質問も受けています。そこで「シラコバト観察旬間（4月1日～9日）」を設定し、その間の観察で居る居ないの判断をしていただこうと思います。詳しくは、『しらこぼと』4月号に掲載いたします。（シラコバト見つけ隊）

■シラコバト観察報告

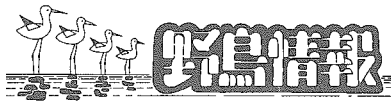
1月2日	千代田町下中森 長良神社付近	20羽	中里 裕一
1月2日	越谷市大字大松の田圃	5羽	吉岡 明雄
1月3日	大宮市深作 焼却場付近の民家	1羽	中里 裕一
1月3日	岩槻市西町2-1付近	2羽	長野 誠治
1月4日	板倉町細谷 細谷交差点付近	1羽	中里 裕一
1月5日	大宮市深作 遊水地遊歩道	4羽	中里 裕一
1月6日	越谷市船渡1461番地付近	2羽	大塚 操
1月6日	岩槻市西町2-1-4付近	2羽	長野 誠治
1月7日	越谷市大字船渡の水路端	5羽	吉岡 明雄
1月8日	越谷市増林 護郷神社境内	2羽	田邊八州雄
1月8日	越谷市大字大松の田圃	3羽	吉岡 明雄
1月9日	越谷市大字大松の田圃	6羽	吉岡 明雄
1月9日	越谷市大字大松 北陽中学校前	3羽	吉岡 明雄
1月10日	越谷市増林3555番地付近	10羽	田邊八州雄
1月10日	岩槻市岩槻 エクレール北側の田圃	5羽	長野 誠治
1月13日	春日部市備後東1-1 藤塚橋下流	2羽	大塚 操
1月15日	越谷市増林3555番地付近	6羽	田邊八州雄

1月15日	松伏町上赤岩1685 飯島養鶏場	5羽	田邊八州雄
1月15日	松伏町ゆめみ野 松伏記念公園	3羽	田邊八州雄
1月16日	北川辺町渡良瀬遊水地中央エントランス	2羽	橋口 長和
1月16日	川島町畑中 平成の森公園東養豚場	13羽	岩瀬 操
1月18日	吹上町荊原 三浦牧場の前の畑	20羽	栗原 省二
1月20日	吉川市拾老軒541番地 養鶏場	9羽	橋口 長和
1月20日	松伏町上赤岩 松伏工業団地横の畑	12羽	橋口 長和
1月20日	吉川市南広島2335 養鶏場	7羽	橋口 長和
1月22日	吉川市拾老軒541番地 (旭橋西詰)	6羽	田邊八州雄
1月22日	松伏町上赤岩 内谷橋 (中川) 東詰	2羽	田邊八州雄
1月23日	藤岡町 渡良瀬中央エントランス横	1羽	玉井 正晴
1月26日	加須市大字大越2458番地	2羽	四分一保雄
1月26日	川島町大字曲師147番地	2羽	大友 慎也
1月27日	羽生市大字上新郷5988番地	5羽	四分一保雄
1月30日	三郷市半田544番地 養鶏場	30羽	橋口 長和
1月30日	蓮田市鶴山と岩槻市古戦場の境	2羽	中村 榮男
1月30日	岩槻市上野 城北大橋	21羽	中村 榮男
2月2日	春日部市内牧 内牧公園	3羽	野村 弘子
2月3日	松伏町大川戸2424 (プレス工場前)	4羽	大塚 操
2月3日	越谷市大字大吉 弥栄小学校前	6羽	吉岡 明雄
2月6日	羽生市ミロク707番地付近	2羽	四分一保雄
2月11日	栗橋町伊坂388番地付近	1羽	富田 弘
2月12日	茨城県堺町山神 キンカ堂横養豚場	6羽	橋口 長和
2月12日	庄和町永沼683番地付近	1羽	橋口 長和

(以上2月12日までに見つけ隊に届いた報告から)



「シラコバト見つけ隊」参加してね！

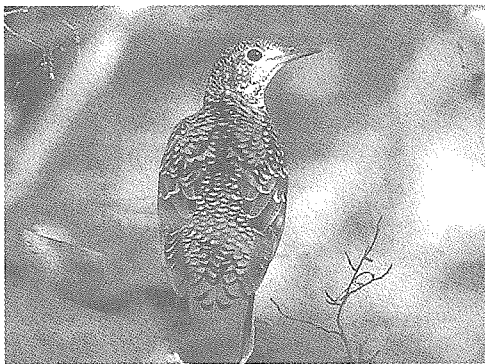


寄居町玉淀湖◇11月3日、オシドリ約50羽、マガモ約50羽の中にホオジロガモ1羽。カケス7羽、シメ1羽、イカル1羽、ジョウビタキ♀1羽、カシラダカ2羽、トビ3羽、カワセミ1羽（後藤康夫・喜久子）。

北本自然観察公園◇11月4日、ヤマシギ1羽、駐車場入口前の道路上で拾う。車に衝突したのか脳震盪状態だったが、意外に元気だったので放鳥。数m先の藪に消えた。クロジ♂1羽水浴び。ベニマシコ♀2羽、アトリ6羽、トラツグミ1羽、アリスイ1羽。オオタカ2羽、上空で1羽がカラスにモビングされていたが、そのカラスの後ろに別のオオタカが応援？の攻撃。11月8日、コガラ2羽、エナガ1羽、ベニマシコ♀1羽。5m先の茂みでハイタカ1羽、数秒間の対峙。12月28日、コガラ1羽、ヒガラ2羽、エナガ2羽、アトリ1羽、ルリビタキ♂1羽、アカハラ2羽、シロハラ1羽、アリスイ1羽、腹部に黒斑のあるキセキレイ1羽。12月30日、ゴジョウカラ1羽、クイナ1羽。12月31日、アオゲラ♀1羽、猛禽でも来たのか、急に木化けすること20分近く。眼だけがキョロキョロしていた。1月5日、カヤクグリ1羽（大友慎也）。

熊谷市万吉◇11月7日午前9時30分、ツグミ1羽初認（森本國夫）。

熊谷市広瀬◇1月3日、大麻生野鳥の森でアケゲラ1羽、アトリ1羽、カシラダカの群



トラツグミ（菱沼一充）

れ、トラツグミ1羽、ノスリ上空で旋回、オシドリ♂♀各1羽（倉崎哲郎・淑子）。
坂戸市城山◇11月20日、ルリビタキ♂1羽、木の枝でノスリ1羽。エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロの混群を見ていたら、聞いたこともない、高い美しい鳴き声が近づいてきてすぐそばの枝にとまった。嘴は赤、眼の回りは白、上面は緑、胸は黄色。頭の中はパニック。図鑑で調べたら、4冊目でやっとソウシチョウだと分かった。かご抜け鳥になるのかな。12月17日、檜林でゴジョウカラ1羽、当地初認。12月30日、ルリビタキ♂1羽、アカゲラ♂1羽、ソウシチョウ4羽。1月1日、ソウシチョウ各6羽、2群が別々のテリトリーで行動していた。地上でドングリを採餌。足で押さえて、器用に食べていた。1月3日、ルリビタキ♂♀各1羽、オオタカ1羽（増尾隆・節子）。

川本町荒川◇11月28日、明戸堰上流でコハクチョウ約60羽、オオタカ1羽、ハイタカ1羽、ノスリ1羽、トビ2羽、タヒバリ1羽、キアシシギ1羽。12月19日、コハクチョウ約75羽、ホオジロガモ♀2羽、オオタカ1羽、ノスリ1羽、アトリ8羽、カシラダカ約20羽（後藤康夫・喜久子）。◇12月30日、ホオジロガモ♀2羽♂エクリプス2羽、2羽は嘴の先端が黄色でしたが、もう2羽は先の方まで黒でした。コハクチョウ（122羽）や他のカモ達と少し離れて、さかんに潜っていた（新井巖）。

川本町芳沼◇11月28日、カルガモ、マガモ、コガモ、ホシハジロ、オナガガモ、キンクロハジロ、スズガモ、オカヨシガモ（後藤康夫）。

本庄市利根川◇11月29日、板東大橋下流でチュウビ、チョウゲンボウ、カワアイサ♀3羽、ヨシガモ1羽、オカヨシガモ多数、トビ6羽。チュウビはカラスにモビングされていた。チョウゲンボウは、アシ原で小鳥をつかみ空中で食べていた（澤井清）。

東松山市都幾川◇12月4日、稲荷橋周辺でコジュケイ13羽、笹ヤブのふちで採餌。キジ♂1羽、シメ約40羽、カシラダカ約40羽、

アオジ、イカルチドリ4羽、クサシギ1羽、イソシギ1羽、カワセミ4羽。ノスリ2羽、オオタカ1羽。ノスリは2羽とも樹上で、オオタカは小鳥を追いかけているところを確認。カオグログビチョウが大きな声で鳴いていた。当地で確認して3年目になった。よくも日本の暑さ寒さをしのいでいるものだ（後藤康夫）。

滑川町二宮山周辺◇12月5日、ルリビタキ♂1羽、ヒガラ、エナガ、カケス8羽、コジュケイ2羽、アカゲラ、コゲラ（後藤康夫）。

吉見町八丁湖◇12月5日、ルリビタキ♂1羽、ジョウビタキ♂2羽♀1羽、オオタカ1羽、バン1羽、マガモ、オカヨシガモ（後藤康夫）。

川島町釘無橋◇12月10日、シラコバト2羽、ノスリ1羽（大友慎也）。

大宮市日進町1丁目◇12月2日、ビンズイ3羽。12月13日、ヒガラ1羽。1月6日、ヒガラ2羽、シロハラ1羽。1月13日、シロハラ1羽（森本國夫）。

大宮市大谷◇12月24日、大宮市環境広場の草地でカワラヒワ、ムクドリ、ハクセキレイ、ツグミ多数。ツグミは全体に散らばっていて50～60羽はいそうだった。タヒバリ、シメ、イカルチドリ7羽、タシギ10羽（鈴木紀雄）。

大宮市指扇◇12月30日午前10時30分頃、雑木林と湿地に続く小さな田んぼでケリ1羽、タゲリ1羽、タシギ2羽。この日は、近くのアシ原でタヌキにも出会った。1月2日、同じ田んぼでケリ、タゲリ（伊藤昌尚・恵子）。

浦和市秋ヶ瀬◇12月5日、大久保農耕地B区でコチョウゲンボウ♀1羽、電線上に20



アカハラ（菱沼一充）

分以上休息。カワラヒワ4羽が1m先に止まっても無視の態。ハシボソガラスにモビングされ、浄水場の方向に飛び去っていった。12月12日、大久保農耕地A区でハヤブサ♀1羽、田んぼにおりていて、さかんに上空を気にしていた。12月19日、大久保農耕地B区でチョウゲンボウ♂1羽が樹上の♀にスレスレに飛び過ぎる行為を3～4回。激しいつっかけに♀もたじろぐ。これも求愛ディスプレイの一種なのかな？（大友慎也）。◇12月18日午前10時頃、ピクニックの森の東側東京紙器グラウンドでシメ80羽以上、ツグミ、ムクドリと餌をとっていた（尾崎甲四郎）。

蓮田市黒浜沼◇12月20日、下沼の灌木でオオタカ成鳥1羽。白い腹部の細かい横縞、鋭い黄色の眼など大変美しかった。上沼の草原中でコジュケイ約10羽が1列にゴソゴソ（鈴木紀雄）。

戸田市道満彩湖◇12月23日、タゲリ3羽、カモメ1羽。12月27日、ミミカイツブリ1羽（高橋達也）。◇12月31日、北川の湖面でトモエガモ♂1羽、真正面から見ると本当におもしろい顔してますね（鈴木紀雄）。

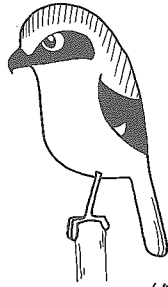
表紙の写真

アカガシラサギ（コウノトリ目サギ科アカガシラサギ属）

横浜市青葉区の寺家ふるさと村という公園で昨年末から越冬中。これは1月に撮ったものですが、2月3月になれば夏羽に変わり始めることを期待して、また行ってみたいつもりです。 外園だけの（春日部市）

中国・台湾・ビルマなどで繁殖する。日本には渡りの時に少数渡来するが、1981年に熊本県、1986年に秋田県で繁殖が確認された。埼玉県内では、数回程度目撃記録や写真撮影による確認記録などがある。（編集部）

行事あんない



(何森 要)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集場所までおいでください。

寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月5日(日)

集合：午前9時10分、秩父鉄道寄居駅南口前広場。

交通：秩父鉄道熊谷8:17発、または急行8:41発。東武東上線川越8:01発で小川町乗り継ぎ。

担当：小池、井上、小淵、喜多、後藤、中島(章)、林(滋)、松本

見どころ：早春の荒川流域をのんびりと歩きましょう。カワセミ、オシドリなど水辺の鳥とイカル、アオゲラ、ルリビタキなども観察できるかもしれません。河原を歩きます。足指はしっかりと。

大宮市・染谷見沼自然公園探鳥会

期日：3月5日(日)

集合：午前8時15分、JR大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場(浦和さぎ山公園南西隣)。

担当：工藤、楠見、兼元、森(力)、吉岡(洋)、日根、山口、松村、百瀬

見どころ：見沼自然公園周辺のコースでの観察記録は昨年3月で92種、その後エナガ、センダイムシクイ、クイナが増え95種。もう少しで100種です。早春の見沼で、ヒバリの声を聞きながら1種でも多く…お待ちしています。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月12日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49発に乗車。

担当：和田、森本、中島(章)、石井(博)、倉崎、松本、中里、高橋、後藤

見どころ：枯れ野に緑が増し、春の到来が感じられるようになりました。冬鳥もそろそろ北へ帰るころです。道の草花や通りすがりの庭先の花々も楽しみながら、のんびりと歩いてみませんか。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月12日(日)

集合：午前8時50分、松伏町松伏記念公園入り口広場。

交通：東武伊勢崎線北越谷駅東口、東武バス①から8:29発エローラ行きに乗車にて「松伏高校前」下車、徒歩約2分。

担当：橋口、大塚、神場、小菅、下川、田邊、本田

見どころ：埼玉県支部の探鳥会でもシラコバトはなかなか見ることができません。越谷市では都市化が進み、シラコバトの数が年々減少していますが、ここ松伏町は密度が濃く棲息しています。この探鳥会では、公園や田圃で採餌するシラコバトや、養鶏場に忍び込む様子をじっくり観察したいと思います。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月19日（日）

集合：午前9時、東武越生線川角駅前

交通：東武東上線川越8：17→坂戸にて越生線乗換え8：43発。または寄居7：53→小川町乗継ぎ坂戸8：41着乗換え。
JR川越線大宮7：55→川越にて東武東上線乗換え。

担当：藤掛、高草木、石井（幸）、青山、久保田、志村、増尾、佐藤（壮）、林（久）、吉田（時）、池永

見どころ：昨年同様に多和田橋を渡らずに、城山中学校経由とします。流れが変わった高麗川ですが、今年の同時期は41種もの観察でした。カワセミやキセキレイとの出会いにご参加ください。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：3月19日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、倉林、渡辺（周）、笠原、若林、兼元、森（力）、清水、前澤

見どころ：春。その夢のような季節に、沢山の花々が咲き揃い、鳥や蜜蜂などの昆虫も蜜を求めやってくる。私達も鳥を探しながら、その花々の誘惑に乗って、見沼たんぼを歩いてみよう。

長瀬町・宝登山探鳥会

期日：3月19日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道長瀬駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8：17分発、または西武鉄道所沢7：44発にて秩父鉄道乗り入れ。

担当：小池、佐久間、青山、井上、林（滋）、堀、堀口

見どころ：樹木の若芽を食べにウソヤマヒワ、アトリなどがやってくるかもしれません。その他に山野草や樹木の観察も行いたいと思っています。2時間程度の

軽い登山ですが、足拵はしっかりと。

秩父市・羊山公園探鳥会

期日：3月20日（月・祝）

集合：午前9時45分、秩父鉄道西武秩父駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8：17発、お花畑駅9：24下車、徒歩5分で西武秩父駅前に。または西武鉄道所沢8：07発快速急行に乗車にて9：26着。現地集合の方は、公園の入口近くの大駐車場。

担当：海老原、佐久間、福井、青山、宮崎
見どころ：羊山での定番は、赤い鳥、青い鳥、黄色い鳥たち。でもお約束はできません。山の小鳥たちとの出会いは、運次第です。一番確実なのはスギ花粉？

栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月25日（土）

集合：午前9時15分、東武日光駅前。

交通：東武伊勢崎線春日部7：34発（快速）日光行に乗車。

解散：午後2時頃、日光東照宮前。

担当：中島（康）、福井、櫻庭

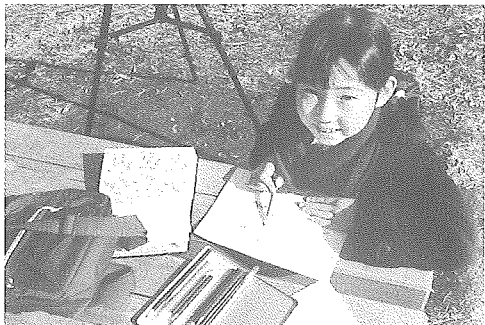
見どころ：神橋の前から東照宮裏山を川沿いに滝尾神社まで歩くお馴染みのコースです。去年は途中からあいにくの雨で、出現鳥も少なかったけど、今年は天気にも恵まれて良い探鳥会になりますよ。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：3月25日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

行事案内は4頁にもあります。



カモのぬり絵たのしいな

行事報告

12月12日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：46人 天気：快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ コジュケイ バン キジバト アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (41種)
風もなく12月の気候とすれば穏やかな日。驚いた。西田沼に水がなく、落ち葉が舞うだけ。でも、池を巡る間に、ルリビタキ、ビンズイ、それにコジュケイの群れなどを見ることができた。落ち葉の溜まる小道を山田大沼へと向かう間に、ウグイスの地鳴きやアカゲラ、カラ類の混群が適宜楽しませてくれた。大沼到着で、またびっくり。カモがまばらで静か。かつての大沼にあふれるようにいて、騒がしく声を上げていたカモはどこへ行ってしまったのか。でも種類は満足。ヨシガモに始まり、オシドリを最後に奥のほうに見つけて盛り上がった。まさに、「池に棲む」名を鶺鴒の水を浅み 隠るとすれば 頭れにけり」作者不詳、古今和歌集 となり、鳥合わせとなった。終了後のお弁当のとき、オオタカが2羽、勇姿を見せてくれた。
(内藤義雄)

12月12日(日) 岩槻市 岩槻文化公園

参加：72人 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ イソギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガ

ラス (31種) 前日から心配していた北風が、スタート間もなく強く吹き始め、期待していたアリスイや他の冬鳥もあまり姿を見せず残念。途中シメやカワラヒワやカモたちを皆で見る事ができ、少しは満足してもらえたのでは。10数名の初心者の参加があり、大変うれしかったが、十分見てもらえず心残りであった。
(中村榮男)

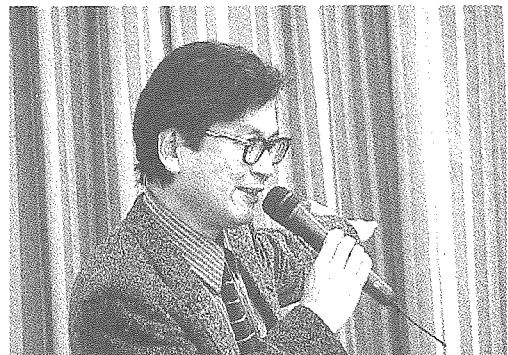
12月19日(日) 浦和市 三室地区

参加：95人 天気：晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ オオタカ チョウゲンボウ キジ バン タシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) おだやかな天気。冬鳥総出の楽しい探鳥会。参加者は95人とやや恐ろしいほどで、農家の人たちや通行の人に迷惑をかけないように心がけた。参加者は新しい人々が多くて、楽しい雰囲気にあふれ、ゆっくりと年末の鳥見となった。
(楠見邦博)

12月23日(木、休) 年末講演会

参加：65人



東京大学先端科学技術研究センター教授の河内啓二先生をお招きして、「生物の飛行」についてお話いただく。先生は、生物学的な領域を、航空工学の立場から研究されている方で、鳥・昆虫・航空機を織り交ぜて「飛ぶ」ということをわかりやすく解説していただいた。揚力と抗力の関係、力学的な制約と生物の適応とのかかわりなど、たいへん参考になるお話だった。興味のある方は、『人間と文化』第64集（三愛新書、500円）をご覧くださいだければと思う。

終了後の懇親会にも20人の参加があり、先生を囲んで大いに盛り上がった。（榎本秀和）

12月25日（土）『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：14人

荒木恒夫、江浪功、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、河辺修造、倉林宗太郎、篠原東彦、島田恵司、島田沙織里、福井昭子、増尾隆室和子

1月3日（月、休）さぎ山記念公園

参加：55人 天気：晴

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ チョウゲンボウ バン タゲリ キジバト アカゲラ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス（36種）Y2Kトラブルもなく無事に開催。松井昭吾顧問の挨拶で今年の支部行事の始まり。昔の鷺山付近の林は年々切



にぎやかな野外懇親会

り開かれて、鳥影も薄くなった。見沼田んぼの一角には水場ができていて、入れ代わり立ち代わり5～6種類の鳥たちが水浴びをしていた。オオタカがコサギを捕食したと思われる真新しい跡が2ヶ所も。暖かい天候に恵まれた探鳥会の後は、例年どおり酒や料理持ち寄りの野外懇親会。高氏のアコーディオンによる伴奏で、歌も大いに盛り上がったのです。（海老原美夫）

1月8日（土）久喜市 菖蒲公園

参加：47人 天気：曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ バン オオバン セグロカモメ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス（39種）曇っていたが、あまり寒さを感じさせないお正月の探鳥会日和で、参加者も多く長い行列となった。昭和池定番のトモエガモは、今年も姿を見せてくれず、まことに残念だ。来年に期待することにしよう。それでも、ヨシガモ、ミコアイサ、オオジュリン、カワセミが歓迎してくれたので、満足としよう。

（大坂幸男）

1月9日（日）熊谷市 大麻生

参加：58人 天気：曇

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ コハクチョウ マガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ トビ オオタカ チョウゲンボウ イソシギ キジバト アカゲラ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス（35種）この日は3ヵ所で探鳥会が開催されたにもかかわらず、参加者が多かった。初参加の人も多く、説明に熱が入り、長い列となった。期待のアオゲラには振られたが、猛禽類は3種出て、穏やかな日和にも恵まれ、まずは2000年代の初探鳥会は無事に終了。（和田康男）

連 絡 帳

●全国分布調査山地調査が始まります

環境庁の委託を受けて本部研究センターが1998年に本調査、1999年に補充調査を実施した平地部の種の多様性調査・鳥類生息分布調査は、当支部からも15名の調査員が参加し、現在報告書が作成されています。

引き続き今年も山地部の調査が計画されていて、研究センターから調査員推薦依頼が届きました。役員会で検討して、事務局が調整し、予定の6コースをそれぞれ担当する調査員を推薦しました。

●e-mailによる研究センターニュースレター

本部研究センターでは、e-mailによるニュースレターを計画中。

e-mailアドレスを持っている支部事務局、調査研究者、調査研究に興味関心のある方を対象に、肩のこらない研究センターの活動報告や情報などを、月に1回程度メール送付、料金無料とのこと。

連絡先 research@wing-wbsj.or.jp

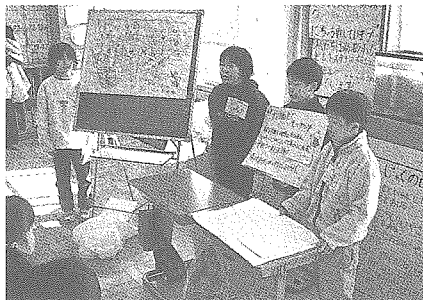
●県自然学習センター意見交換会に出席

1月14日(金)、センターと北本自然観察公園の管理運営等に関する意見交換会が開催され、中島康夫支部長と岡安征也監事が出席しました。他に4団体から6名、行政側から11名が集まり、高尾の森の区画ごとの伐採再生計画などが話し合われました。

●普及活動いろいろ

1月26日(水)大宮公園で大宮市北公民館主催の野鳥観察教室が開催され、依頼を受けた松井昭吾顧問が、中島支部長と2人で、16人の参加者を指導しました。

2月4日(金)浦和市立高砂小学校で数百人が集まる公開研究協議会が開催され、総合的な学習の時間の公開授業のひとつとして、「鳥がくる校庭にしよう」グループの研究発表(写真右上)がありました。海老原美夫副支部長がゲストティーチャーとして招かれ、指導に当たりました。



●3月の事務局 土曜と日曜の予定

11日(土) 編集会議、研究部会議。

18日(土) 校正作業。

19日(日) 役員会議。

25日(土) 袋づめの会。

●会員数は

3月1日現在2,994人です。

活 動 報 告

1月9日(日) シラコバト見つけ隊会議。

1月15日(土) 編集会議。研究部会議。他支部の支部報整理作業など(渡辺泰子)。

1月16日(日) 役員会議(司会:浅見健一、干潟を守る日2000キャンペーンへの賛助金を3万円とし、キャンペーンと共に、諫早干潟緊急救済本部及び東京事務所の運営費用にも役立てもらうことを議決・シラコバト調査の進め方を検討・その他)。

1月22日(土) 2月号校正(海老原美夫・大坂幸男・倉林宗太郎)。

1月31日(月) 2月号を郵便局から発送(倉林宗太郎)。

編 集 後 記

この欄を担当して十何年。毎月編集会議の日に、仕事モードの頭を野鳥の会モードに切り替えて、今月は何か書くことあったっけと書類をひっくり返す。シロハラが枯れ葉を掻き分けるように。結構書くことがいっぱい見つかって、支部の活動を点検し直す良い切っ掛けにもなっている。(海)

『しらこぼと』2000年3月号(第191号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.or.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
(財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事はすべて上記ホームページに転載されます。本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします) 再生紙使用